事業完了報告書

提出日：2023 年 4 月 11 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人青少年自立援助センター
（2）事業名　：公益活動団体における海外ルーツ青少年受け入れ体制推進事業
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　／　☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2） 整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒ 全て公開した　／　☐ 一部未公開　／　☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3） 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい　／　☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
□ はい ／ ☑ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。 原則利益相反の発生は抑止されているという立場にあり、万が一そのような行為の可能性がある場合は積極的に申告するよう呼びかけを行っている。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 理事会に監査担当者を置き、最終年度 2023 年 5 月決算時に実施
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況	
☐ 自団体のウェブサイトで表示している	／ ☐ 広報制作物に表示している
☐ 報告書に表示している	／ ☑ イベント実施時に表示している
☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：	

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	有	事業報告会を実施。 http://minc-net.org/info/seminar/20230222.html

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

ガバナンス・コンプライアンス体制の整備をこの段階で行うことができたことは、当法人にとっては基盤強化につながった。一方で、このレベルのガバナンス・コンプライアンス体制の整備が、草の根の小規模団体にとっても共通して必要なのかを考えると、そのような団体にとっての優先事項は他に存在し、また、整備のための負担が大きすぎるのではないかと思われる。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

① プライドハウス東京

新宿区で LGBTQ＋の方々への支援をされているプライドハウス東京の皆さんの現場、「プライドハウス東京レガシー」に伺い、現場で必要な多文化対応について話し合いをした。

② レインボーリボン※許諾確認中

葛飾区でこども食堂の活動をしている NPO 法人レインボーリボンの皆さんに、多文化対応研修と、やさしい日本語研修を行った。

③ みんかふぇ

NPO 法人パルシックが葛飾区で運営しているコミュニティーカフェ「みんかふぇ」のみなさんと、地域に住む海外ルーツの方々とやさしい日本語のワークを行った。自身の出身地の食べ物をやさしい日本語で紹介し合った。

④ 最終報告会（セッション）

2023 年 3 月 17 日に、minc 多文化対応推進事業で関わった放課後 NPO アフタースクール、認定 NPO 法人カタリバ、認定 NPO 法人フローレンス、認定 NPO 法人自立生活援助センター・もやい（50 音順）のご担当者の皆様に登壇いただき活動報告とディスカッションをしていただいた。

⑤ 最終報告会（土井さん）

同上、minc 多文化対応推進事業報告会では、NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事／NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事の土井佳彦さんに基調講演をしていただいた。